

「報告」

熊本地学会平成 21 年度総会・講演会

平成 21 年 11 月 28 日(土)に、くすのき会館で開催されました。講演は 10 件、多くの会員が参加され、盛会でした。

【総会】

○会員数は、計 157 名です。(22. 4. 1 現在)です。お近くに地学関係者が居られましたら、お声をかけください。

○平成 22 年度役員には、次の方々が選出されました。

会 長	堀川 治城
副会長	田中 均
幹 事	鶴田 孝三 村上 浩二 宮縁 育夫 湊 啓輔 田口 清行 西岡 智洋 馬場 正弘 村本雄一郎 池上 直樹

会計監査 河上 強

○平成 22 年度の会計を報告します。

収入の部

・会費	319,000 円
・平成 21 年度からの繰越金	349,663 円
・利息	47 円
収入合計	668,710 円

支出の部

・会誌印刷代	207,270 円
・切手・送料代	73,950 円
・その他(封筒、シール等)	3,471 円
支出合計	284,691 円

差引残高(次年度へ) 384,019 円

【講演会】

- (1)九州各地に分布する火山の教材開発～新学習指導要領がめざす「思考力・判断力・表現力」の育成に視点をおいて～ 坂本 大輔
- (2)阿蘇火山の生い立ちを実感する野外観察会の試み 濱田 祥蔵・池辺 伸一郎
- (3)くまもと地学教育研究会のこれまでの活動 西田 範行・西岡 智洋
- (4)化石レプリカ作製法の紹介 古閑 公浩・濱田 祥蔵・羽田 伊織・岩川 風

(5)埋蔵文化財確認調査から見えてくるもの

～旧地形復元の可能性～ 稲津 暢洋

(6)「阿蘇ジオパーク」日本ジオパークに認定

渡邊 一徳・池辺伸一郎・横山 勝三・須藤 靖明

(7)阿蘇カルデラ東方および西方域における過去

約 3 万年間の植物珪酸体分析

宮縁 育夫・杉山 真二

(8)日奈久東方の下部白亜系 村上 浩二

(9)熊本の地下水位表現方法とその特徴

福田 光治・西浦 諤二・西 英典・山崎智寛

(10)熊本市地下水の問題あれこれ

田村 実・森下 吉郎

【懇親会】

恒例の懇親会は、16 時よりくすのき会館ナポリで開かれました。会には、35 名の参加があり、親交を深めました。

幹 事 会

平成 22 年度の幹事会が、2 月 13 日(土)に熊本大学教育学部地学教室で開かれ、次年度の計画と役員役割が次のようになりました。

○会誌の発行予定

153 号(4 月) 154 号(7 月) 155 号(11 月)

○巡検会及び総会

第 1 回(巡検会)：4 月 29 日(木)昭和の日

球磨地域に見られる皆伐による崩壊及び仏像構造線の観察(一般参加歓迎、但し小学 4 年以上)

第 2 回(巡検)：8 月 6 日(金)・7 日(土)・8 日(日)

五島列島の地質巡検(定員 20 人)

第 3 回(巡検)：小岱山・不動岩の標本採集会

総会：11 月 27 日(土)於：くすのき会館

○ 会の役割分担(幹事の担当は下記のとおり)

総務(鶴田・田口) 会計(宮縁)

第 1 回巡検(村本) 第 2 回巡検(馬場・西岡)

第 3 回巡検(村本・湊) 総会・会誌(村上・池上・宮縁)

発 行 所

熊本地学会誌	No. 153
熊本市黒髪 2 丁目	熊本大学教育学部
地学研究室内	熊本地学会
TEL096-342-2539	振替 01960-2-5359